

2020年4月20日

学校法人 大東文化学園
理事長 中込 秀樹 様

大東文化大学教職員組合
執行委員長 大杉 由香

コロナウィルス流行に伴う諸問題に関する要望書（その2）

4月9日の段階で、既に標記の要望書を提出したものの、全面遠隔授業になったことに対する学生、教員から困惑、不安、不満の声が上がっている現状を鑑み、大学が教育機関として正当な教育を行うことができるよう、大東文化大学教職員組合では、学生、教職員に対する下記の対応を可及的速やかに求める。

記

1. 非常勤講師に対する授業運営用整備費の支給

オンライン授業における非常勤講師の負担は増大すると思われる。大学では既に交通費支給を行わない代わりに、授業運営用整備費5万円を一律に支給しており、本学でも同様の措置の検討を求める。

2. 大学による教科書の送料負担

進明堂では学生の送料負担で教科書を送付する予定があるようであるが、進明堂に送料援助を行い、学生の負担軽減を図ることを求める。

3. 学生支援策を行うための通信環境やPC環境等のアンケートの可及的速やかな実施

大学として支援を行うことを学生に周知したうえで、通信環境やPC環境等の実態調査を行うことを求める。

4. 通信状況が未整備の学生および非常勤も含めた教職員への援助

他大学ではポケットwi-fiの貸与や通信料の負担、学園所蔵のPC貸出を行っており、本学でもこうした措置を求める。

またオンライン授業に不慣れな教員に対応するためのサポートグループの結成、動画撮影用スタジオの設置を求める。

5. 学園情報センター主催による教員対象のZOOMやMEETの講習の実施

現在、各学部・学科もしくは各教員のやり方に任せている状況が続いているが、大学全体として学園情報センター主催の講習を行うよう求める。

6. 大学としてZoomとライセンス契約を結ぶこと

セキュリティ問題はある程度解決されつつあることから、大学としてZoomとライセンス契約を結ぶことを求める。

7. 実技系科目の補講や集中授業等の確約

対面授業が可能になって以降、具体的にどのようにするのか、その計画を可及的速やかに明らかにすること。仮にどうしても対面が難しい場合、代替措置として何を考えているのかも明確にし、学生に周知するよう求める。

以上